

# Crossroads



## 《中間テストまで1週間》

先日、9月初めに実施した実力テストを返却しました。校内順位が示されるので、自分の力を図る1つの目安（ものさし）になります。評定には現れてこなかった学力（実力）も垣間見ることができました。

実力テストは範囲も広く、形式も含めて高校入試と似た傾向があります。事実、入試も5教科（もしくは3教科）で、多くの受験生と競い合うわけですから。昨年度を振り返ってみると、実力テストで高得点を取った生徒は、受験当日もその力を発揮できていたように思います。

受験には「評定得点」と「当日の学力検査得点」の両方が不可欠です。評定アップを目指して取り組む中で、確かな学力も身に付けられると良いですね。中間テストの範囲表も配布されましたので、学習時間をしっかりと確保してテストに臨んでほしいと思います。

## 《体験入学情報》

### ◎ 名古屋高等学校（私立高校【男子校】）

- ◆日時：10/24（土）13:00～15:00
- ◆内容：学校紹介、施設見学、個別相談会等
- ◆申込期限：10/16（金）まで

### ◎ 春日井工業高等学校（公立高校）

- ◆日時：10/24（土）9:30～11:30
- ◆内容：学科紹介、就職・進学状況、校内・施設見学
- ◆申込期限：10/16（金）まで

### ◎ 同朋高等学校（私立高校）

- ◆日時：10/31（土）9:30～12:00
- ◆内容：キャリア教育・部活動体験、学習プログラム説明
- ◆申込期限：10/23（金）まで



- 
- ◆日時：11/14（土）9:30～12:00
  - ◆内容：授業体験（普通科・商業科）・部活動体験
  - ◆申込期限：11/6（金）まで

## 《私の進路選択》

第2弾は、音楽科担当の田村先生です。

実家から自転車で約30分。自由な校風で、勉強をちゃんとやっていればそれほど厳しいことは言われたい、というK高校にずっと憧れていた。1年生の頃はそれはそれは真面目に勉強をした。成績も良い方だった。K高校へ進学することを少しも疑っていなかった。

ところが2年生になり、スランプがやってきた。部活で必死に練習しても結果が出ない。後輩の前で「お前なんか辞めろっ、下手くそっ！」と顧問に怒鳴られ落ち込む日々。友達関係もうまくいかず、気持ちは暗かった。家でも教室でも、何ともないふりをしていたけれど勉強なんてする気にならなかった。宿題や予習は一応やっていたけれど、1年の時に比べたら明らかに手抜きだった。

そしてジリジリと成績は下がり始め…。このままじゃいかん!!!と焦りだした3学期。担任に「まだ間に合いますか？」と聞いた。「今すぐ本気で始めれば、望みはある。」そのひと言で目が覚めれば良かったのに、残念なタムラはちょっと安心してしまった。いろいろ理由をつけて面倒なことや苦手なことから逃げてる場合じゃない、と気づいたのは春休みの終わり頃。遅ればせながら、それからの私はわからない問題は必ず質問に行くようにした。わかったと思えるまで、何度でも聞きに行った。

3年の夏休みは不眠症に悩まされながら、ひたすら復習と学校の課題に取り組んだ。その甲斐あってか、成績は少しだけ戻った。でも、例年なら名古屋の学校を受けるような成績の子たちの多くが、その年はK高校を希望しているから合格は難しいだろう、という理由で私は受験校を変更するように言われた。

無念だった。当時は体験入学なんてなかったし、そこ以外は考えていなかったから、途方に暮れた。ふと、部活でとても仲の良かった憧れの先輩が、「理江ちゃんも同じ高校においでよ～」と言ってくれたことを思い出し、そこに決めた。(とは言え、最終的に決定するまでには、親との激しいバトルもあったのだけれど、それはまたの機会に…)

結局その学校の校風は自分に合わず、窮屈な思いで3年間を過ごした。もっと早く頑張る自分を取り戻していたら…。もっとしっかりと情報を集めて、本気で考えていたら…。そんなことを今でも時々考える。記憶から消すことのできない、苦い苦い思い出です。

